

16/Nov.2012

ベトナムを離れ、再びラオスに入国、ウドムサイに向かう。

- 06:30 デイエンビエンフーのバスターミナルに着く
- 06:47 時刻表によると7:30発であるが、早くに出発。
- 09:17 国境に到着
- 09:55 ラオスに再入国
- 14:50 ラオス・ウドムサイのバスターミナルに到着
- 17:00 ウドムサイの町歩き
- 18:30 夕食



↑朝のデイエンビエンフーのバスターミナル。左はウドムサイ行きのマイクロバス・ヒュンダイ製。中はハノイ行き長距離大型バス。OUDOMXAY の表記のある我々のバスは既に屋根に荷物を積み終え、出発体制。外国人観光客が後部3分の2の席を占めている。現地住民は前方の3分の1。殆ど満席。かろうじて現地住民に交じて席を確保。時刻表は7時半出発だが・・・7時前に発車。昨日のバイクタクシーのドライバーは既に客待ち。よく働くものだ。



↑5月7日通りをラオス方面へ進む。車窓からは物売りの姿が見える。果物を売っている。ここでバスは停止。添乗員が依頼を受けていたのか、店で洗剤らしきものを購入。満席状態にも拘わらずここでも乗客を乗せる。大きな荷物だ。進行方向左あたりに、タイ族ベトナム軍兵士の捕虜収容所があり、フランス軍の空爆により300人余が犠牲になった。その慰霊碑があると聞いていた。そんなことに思いをはせながらバスは走る。



↑約2時間で、国境のベトナム側施設に着きました。大型ダンプがしきりに通行する悪路を通過して・・・記念にベトナム側の看板を撮っておきます。



↑ 出国審査を待つ外国人ツーリスト。ラオス北部に行く者が多い。



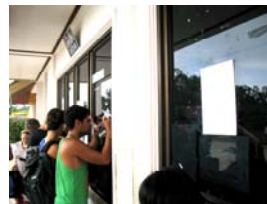
↑ ここでは先ずトイレは使えないと心得るべし。糞つまり状態。ラオス側もベトナム側も。こういった飯屋のものをうしかなない。飯、麺、ドリンクが食せるとの看板。



↑ ベトナム、ラオスの施設はかなり離れている。再びバスに乗り、ラオス側国境施設で入国審査に向かう。車中はこんな状態。45名が乗車している。この状態は、途中乗車があり、もっと凄まじくなる。ウドムサイまで運命と共にする。



↑ ラオス側国境施設に到着



↑ 感染症対策。体温検査を受けて入国。全員OK

↑ 入国審査書類に記入するツーリスト



↑ 大型トラックが税関の審査を受けている。荷物を長い棒状の物で突き刺している。17トンのトウモロコシを満載していると言う。ベトナムへの飼料用として輸出。

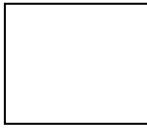


↑ 出国審査を待つラオス人。袋の中身は判らない。穀物か？



← 入国審査窓口にこの看板。交通事故の保険のポスター。ここで加入出来るようだ。インシュランスカンパニーの文字が見える。

バス旅行をお見せします。



←動画

まだまだ乗り込みます。外国人ツーリストは半ばあきれ顔で笑いが漏れます。



←動画

車窓からの風景です。



←動画

雨が降り始めました。めずらしいことです。途中のまちで、屋根の荷物をトランクに入れ直します。中々の気配りです。過去に、外国人ツーリストからクレームがあったのかも。



←動画

幼児も乗り込んでいる。乳飲み子を抱えた女性もいます。幼児は乗り物酔いで嘔吐。計3人がバスに酔い、嘔吐する状態。

↓15:00ウドムサイに着きました。約8時間のバス移動である。休憩後、夕食までしばらくの間、暮れゆくウドムサイを町歩き。



↑三菱がホテルを中心とした新市街地を開発中です。ホテルは営業開始が遅れているが、周辺はショッピングや食事出来る店が出店している。電器や携帯電話など電子機器を扱う店が多い。チョットした建築ラッシュです。足場は竹で組まれている。



↑鶏卵の中を抜き、プリンか茶碗蒸しの材料かと思われるものを入れ、固めたものを売っている。夕食は前回の店。ベトナムからのバスの添乗員が来店していた。隣席には若者のグループがラオオオを持ちこんで、食事を楽しんでいる。焼き飯と春雨のスープを注文。ピアラオも。